

テーマ：子供の体験活動 対象：地域住民 主催：大竹市立玖波公民館

# H-⑥子ども天国INKUBA



地域を学ぶ	○	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

## 1 事業プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和3年 5月～7月	大竹市立玖波公民館	○事前準備 ・各企業等と連携し、事前打合せを行う。 (月4回程度) ・チラシを市内小学校へ配付する。
令和3年 7月25日(日)		○子ども天国INKUBA ・子供たちが体験を通して、地域にある多様な職種の人と交流し、社会の仕組みを学ぶ。 主なブース (ちびっ子棟上げ体験、バーチャル体験、ちびっ子白バイ体験(本物)、まちかどピアノ、ちびっ子郵便局、ちびっこお金博士等)
令和3年 9月		○事後反省会 ・当日の様子を振り返り、今後の見通しを持つ。 ・冊子やDVDに活動の記録をまとめる。



対象	地域住民(小学生を中心とした)
経費	指導者講師料 約4万円 大竹市地域学校協働本部委託事業「おおたけっ子らんらんカレッジサマースクール2021」、広島県温暖化対策活動促進補助金「環境学習事業」
連携先	地域住民(地域ジン)、地元の企業・商店、玖波小学校、玖波中学校、警察署、郵便局 ※地域ジン…玖波公民館学びのカフェ参加者から公民館の事業運営に携わるようになった方

問合せ先

大竹市立玖波公民館  
〒739-0651 広島県大竹市玖波1丁目10-1  
電話：(0827)57-7084 ファクシミリ：(0827)59-0004

## 2 事業設定の理由（学習の目的）

CSR（企業の社会的責任）やSDGs（世界規模の課題を解決し、持続可能な社会をつくること）の考えを取り入れ、体験活動を通して地域の多様な職種の人と交流を行い、社会の仕組みを学ぶことにより、子供たちが地域にある職業への関心を持ち、「生きる力」を育むため、平成30年より毎年実施している。（令和2年は中止）

## 3 学習目標

- 子供たちが社会の仕組みについて知ることができる。
- 子供たちが体験を通して地域にある職業について学ぶことにより、地域にある職業を知ることができる。
- 子供たちが各職業の持っている特質等を知ることによって、将来身に付けておくべき力等について考えることができる。
- 多世代間の交流を通して、自分の考えを言動や行動で表現することができる。
- 子供たちが体験を通して地域にある職業について学ぶことにより、先人の知恵や技術を受け継いでいきたいという、機運を醸成する。

## 4 事前に必要な知識や準備物

- 地域のアーティストの方と連携し、事業で取り扱うパネル等の作成を依頼する。
- チラシを作成し、市内小学校へ配付する。
- 市役所担当課へ助成金等の申請をする。
- 事前打合せに係る企業等との日程調整を行う。
- 各ブースへ出展してもらうため、企業等と連携をする。

## 5 留意点

- 出展している企業や参加者に事故やケガがないように安心・安全な運営を呼びかける。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、出入り口で検温、記名等を行う。また、予め各ブースの活動時間と定員を決めておき、事前に抽選を行い、当選した参加希望者にはハガキを送付する。
- 地域の企業等と綿密に連携し、社会教育法第23条に基づいた運営をする。
- 参加者からの運営方法等に係る意見は公民館職員が聞き取るようにする。

## 6 成果

- 子供たちが自分たちの住んでいる地域や職業について知ることができた。
- 多世代間のつながりづくりを行うことができた。また、主催者や各企業とのつながりづくりも行うことができた。
- 子供たちが体験的に地域の職業について学ぶことにより、自己の将来について考える機会にすることができた。

## 7 課題

- 参加者が困ることがないように、円滑な運営をする必要がある。
- 希望者が全員参加できるように工夫する必要がある。（定員1102人、応募約1300人）

## 8 今後に向けて

- 希望者全員が参加でき、円滑な運営ができる方法を考える。
- 多様な企業と連携し、体験内容に偏りがでないようにする。